

科目名 Course Name	ゼミナール I（公務員） Seminar I				ナンバリング No.	A1-017	
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	藤田 蘭丸						
連絡方法	C-Learning で対応、教室、非常勤講師室						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP1, DP3, DP5						
授業の概要と 到達目標	本科目は、社会に出て直面する行政の実態に関する知識や、公務員を志望する学生が理解しておくべき行政の視点、考え方について学ぶとともに、現代行政が抱える課題の把握や分析を行うことで、実際の職務に活かせる力を養成する。 ①公務員として必要な知識を習得する。 ②論理的に思考することができるようになる。 ③現代社会が抱える諸問題を的確に把握し、多角的な視点から論じることができるようになる。						
授業の方法	ディベート、グループワークなどを含む演習形式で行う予定であるが、履修者数によっては講義形式とする。						
学習成果	L01	テーマについての報告・議論を通して、主体的に問題発見と対応策の提示ができる。					
	L02						
	L03	学んだ知識をもとに、複雑な社会的事象を論理的に読み解くことができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	授業のなかで対応する。						
教科書／ 参考図書	【教科書】初回授業時に指示する。 【参考図書】必要に応じて講義中に提示する。						
履修上の留意点 やルール等	ゼミナール形式を取るため、受講者には一定の頻度で報告をしてもらったり、発言を求めたりすることになる。したがって毎回の講義に際しては、十分な自己学習の上で真剣に取り組む姿勢が強く求められる。シラバスは講義とグループワークの併用例を記載しているが、履修者数や受講者の希望によって授業方針等を決めるため、授業計画は変更となる場合がある。授業方針等の決定のため、履修予定者は初回授業に必ず出席をすること。やむを得ず初回授業を欠席する場合は必ず事前に連絡をすること。なお、成績評価の対象となるためには 3 分の 2 以上の出席を必要とする。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務 経験							

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	グループワークなどへの積極的な発言などから判断する。	10		10			
レポート／作品	提出されたレポートが、書式等の要件を満たし、課題に適切に答える内容になっているか、到達目標②③にかかわる視点が身についているかを評価する。	25		25			
発表	主に到達目標②③にかかわる政策分析上の視点が身についているかを評価する。	15		15			
小テスト							
試験							
その他							
合 計		50		50			

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション、今後の授業予定の決定、受講者の確定、グループ分けなど
	事前・事後学習	希望する公務員の職種や試験科目などを確認しておくこと。
2	授業内容	行政とは何か
	事前・事後学習	大学にはどの程度公的な補助が行われているのか調べる。
3	授業内容	政府とはなにか
	事前・事後学習	学生生活における集合行為問題の例を考える。
4	授業内容	国と自治体の仕組み
	事前・事後学習	議院内閣制と大統領制の特徴を整理する。
5	授業内容	中央省庁と自治体の組織
	事前・事後学習	中央省庁や各自治体の組織構造について整理、確認する。
6	授業内容	公務員とは何か
	事前・事後学習	公務員という仕事のやりがいについて考える。
7	授業内容	行政改革
	事前・事後学習	行政組織改革の手法について、具体例を用いて説明できるようにする。
8	授業内容	公共政策と行政
	事前・事後学習	自身の関心のある公共政策について、どのような問題への対応であったのか調べる。
9	授業内容	立法過程と条例制定過程
	事前・事後学習	自身の居住している自治体で作成された自主条例について調べる。
10	授業内容	予算と行政
	事前・事後学習	地方交付税制度の意義、役割について調べる。
11	授業内容	政策研究と政策分析
	事前・事後学習	自分の調査する公共的問題について、調査・報告の準備を進める。
12	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション
	事前・事後学習	政策課題について資料を収集する。
13	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション
	事前・事後学習	プレゼンテーションに向けて、資料の整理、作成、発表練習をする。
14	授業内容	公共政策の現状と課題に関するグループディスカッション
	事前・事後学習	政策課題について資料を収集する。
15	授業内容	公共政策の現状と課題に関するプレゼンテーション
	事前・事後学習	プレゼンテーションに向けて、資料の整理、作成、発表練習をする。

科目名 Course Name	ゼミナール I (スポーツトレーナー演習) SeminarI (Sports Trainer)				ナンバリング No.	A1-027	
年次	1年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	板倉 茂樹						
連絡方法	本館 2 階研究室か、メールで対応。オフィスアワーは月曜日以外の授業担当時間以外で。						
必修／選択	選択						
関連 DP	DP2, DP3						
授業の概要と 到達目標	運動指導をしていく場合「スポーツトレーナー」や「スポーツインストラクター」という仕事がある。前者は、主にスポーツジムなどでマシン操作やけがの応急処置、けが防止の施術などを行う。後者は、主に各種目の技術指導を行う。現代社会では、スポーツをする人のみならず、社会変化に伴い様々な身体の不調を訴える人が増えている。肩こりや腰痛などの体の不調は、日常生活で起こる様々な原因によって筋肉が緊張したり、間接に負荷がかかたりすることから起こり、体を整えることへの欲求が高まってきている。 そこで本授業では、スポーツ全体について学び、スポーツをする人、また、不調を訴えている人をサポートするための施術について以下のことができるようにする。 体の知識とスポーツの特徴について説明することができる。 体の痛みや不調を特定することができる。 体の痛みや不調を改善するための施術をすることができる。 カウンセリングやコミュニケーションを円滑にとることができる。						
授業の方法	パワーポイント、ディスカッション、授業用配布資料による講義、DVD による視聴覚教育						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	体のつくりと各種スポーツの特徴を結び付けて説明することができる。 体の痛みや不調を特定することができる。 体の痛みや不調を改善するための施術をすることができる。 禁忌や注意点を洗い出せるカウンセリングやコミュニケーションをとることができる。					
	L04						
課題に対する フィードバック	小テストや課題に対しては授業内で模範解答を示し、各自にフィードバックする。						
教科書／ 参考図書							
履修上の留意点 やルール等	教室への食べ物の持ち込み禁止と携帯電話の使用禁止。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分である。						
担当教員の実務 経験	職種: 中学校野球部監督、高等学校硬式野球部アドバイザー、指導主事、校長 職歴: 通算36年						

成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合				L01	L02
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	S評価は私語なく講義に集中し配布資料に必要事項を書き込んでいること、また質問に対して簡潔・的確な内容で回答していること。			30			
レポート／作品 発表							
小テスト	100 点満点中 S=90-100 点、A=80-89 点、B=70-79 点、C=60-69 点、D=59 点以下、で評価。						
試験				70			
その他							
合 計				100			

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業の進め方、成績評価方法、講義受講にあたっての注意点)
	事前・事後学習	配布資料をよく読み、次回の内容理解に努めておく。
2	授業内容	静的ストレッチ演習
	事前・事後学習	目的、手順、効果についてまとめる
3	授業内容	動的ストレッチ演習
	事前・事後学習	目的、手順、効果についてまとめる
4	授業内容	バリスティックストレッチ演習①
	事前・事後学習	目的、手順、効果についてまとめる
5	授業内容	バリスティックストレッチ演習②
	事前・事後学習	目的、手順、効果についてまとめる
6	授業内容	器具を使ったストレッチ演習
	事前・事後学習	目的、手順、効果についてまとめる
7	授業内容	セラバンドを使ったリハビリテーション
	事前・事後学習	使用方法の手順をまとめる
8	授業内容	チューブを使ったリハビリテーション
	事前・事後学習	使用方法の手順をまとめる
9	授業内容	ストレッチポールを使用したコンディショニングケア
	事前・事後学習	使用方法についてまとめる
10	授業内容	バランスボールを使用したコンディショニングケア
	事前・事後学習	使用方法についてまとめる
11	授業内容	トランポリンを使用したコンディショニングケア
	事前・事後学習	使用方法についてまとめる
12	授業内容	スポーツマッサージ演習①
	事前・事後学習	コンディショニングケアについてまとめる
13	授業内容	スポーツマッサージ演習②
	事前・事後学習	アフターケアについてまとめる
14	授業内容	スポーツマッサージ演習③
	事前・事後学習	全身ケアについてまとめる
15	授業内容	まとめ
	事前・事後学習	質疑、確認したい内容をまとめておく。